

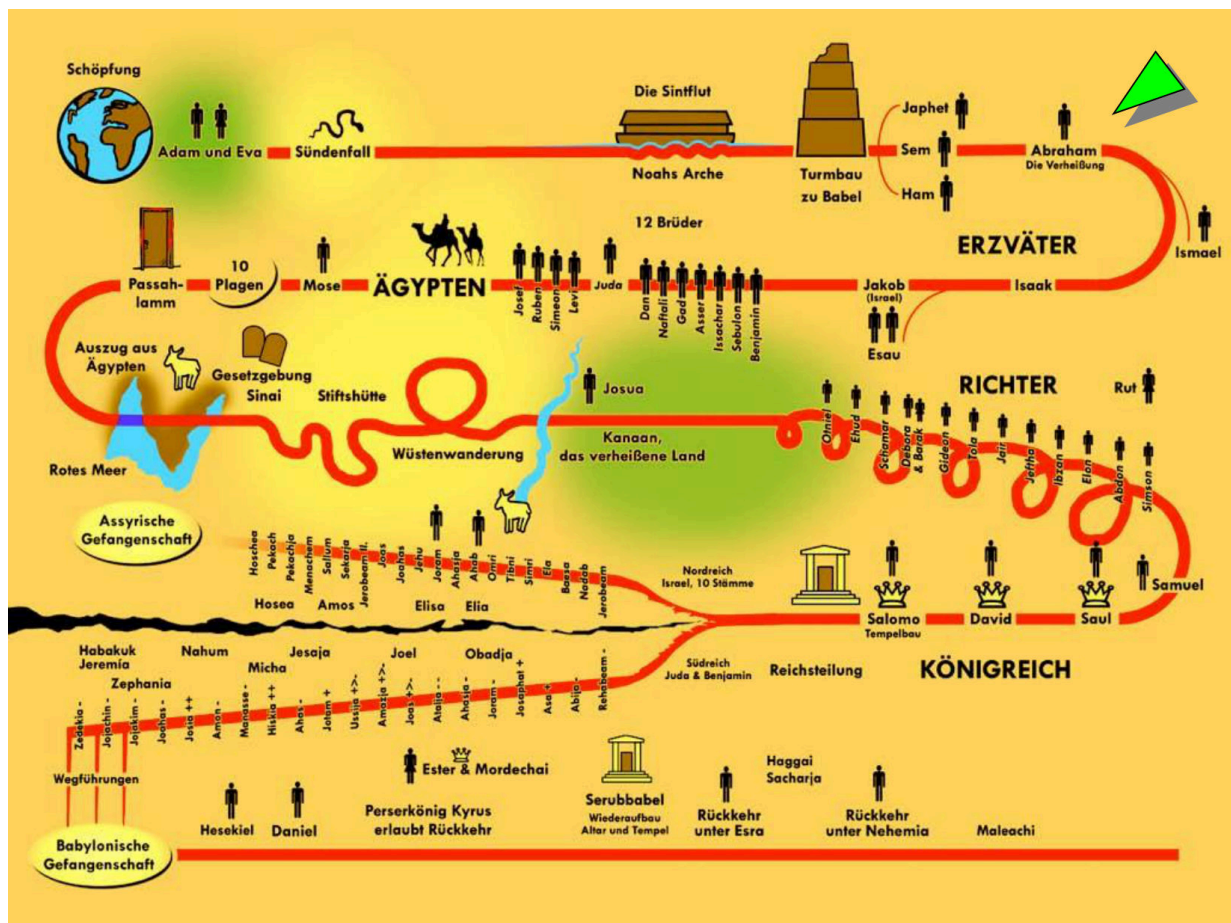
出エジプト記（モーセの第二の書）

出エジプト記——ラメセスからシナイまで

一日の時間割

60分	導入	
60分	1. 1～4章	救出者（モーセ）の選び
	2. 5～11章	ファラオと十の災い
45分	3. 12～15章	過越と出エジプト
50分 グループワーク		葦の海とその霊的な意味
60分	4. 15～18章	荒野の旅の始まり、最初の3か月
60分	5. 15～24章、32～34章	シナイ山のイスラエル、律法の授与、契約
45分	6. 25～31章、35～40章	神の聖所とその祭司たち

旧約聖書における救いの歴史の概観



（図：旧約聖書における救いの歴史の道筋。天地創造、アダムとエバ、墮落から、大洪水、バベルの塔、族長たち、エジプト、出エジプト、シナイと荒野の旅、士師たちと王国を経て、アッシ

リア捕囚とバビロン捕囚、そしてエズラとネヘミヤのもとでの帰還まで。)

著者

モーセは何度も、書き記すようにとの直接の命令を受けました

モーセは書き記した者として名が挙げられています。モーセは主のことばを聞きます。出エジプト記には、いわゆる預言者定式「主は言われた」がおおよそ63回出てきます。それを聞いたのはモーセただ一人ですから、書き記したのもモーセであるはずで。

「モーセの律法」という表現は個々の書を区別せず、モーセ五書全体を指しています。旧約聖書の他の多くの箇所でもそのように呼ばれており、それはモーセが全体の著者であることをはっきりと裏づけています。新約聖書もイエスご自身も、モーセがモーセ五書全体を書き記したことを認めています。



Copyright 2005 Ted Larson

Der Verfasser

Mose erhielt mehrfach einen direkten Schreibbefehl

Mose wird als Schreiber genannt. Mose hört das Wort des Herrn: Ca. 63-mal kommt die sog. Prophetenformel „der Herr sprach“ in Exodus vor. Mose ist der einzige Hörer und muss demnach auch der Schreiber sein.

Der Ausdruck das „Gesetz Mose“ differenziert nicht zwischen den einzelnen Büchern sondern meint den ganzen Pentateuch. So wird es an vielen weiteren Stellen im AT genannt, was eindeutig Mose als Verfasser des Ganzen bestätigt. Das NT und Jesus selbst bestätigen auch Mose als Schreiber des gesamten Pentateuch.

モーセとキリスト

モーセは預言者でした。キリストもそうです。使徒の働き 3章22節 — 申命記 18章15、18、19節
イスラエルはモーセにつくバプテスマを受け、私たちはキリストにつくバプテスマを受けました。コリント人への手紙第一 10章2節

モーセは自分の民に拒まれました。キリストも同じことを経験されました（例：使徒7:20以下）

モーセの歌（出エジプト15章／申命記32章）と小羊の歌。ヨハネの黙示録 15章3節

予型論（象徴的な意味）

聖書の霊的な意味

コリント人への手紙第一 10章11節

これらのこと〔**特に**出エジプト〕が彼らに起こったのは、**型**〔ギリシア語 typos（テュポス）〕としてであって、それが書かれたのは、世々の終わりに臨んでいる私たちへの戒めのためです。

ローマ人への手紙 15章4節

かつて書かれたものはすべて、私たちを教えるために書かれました。それは、聖書が与える忍耐と励ましによって、私たちが希望を持つためです。

ルカの福音書 24章27節、32節

それから、モーセやすべての預言者から始めて、聖書全体の中でご自分について書かれていることを、彼らに説き明かされた。

二人は互いに言った。「道々お話しくださる間、聖書を説き明かしてくださる間、私たちの心は内で燃えていたではないか。」

キリストこそ予型論の鍵です！

旧約聖書は新約聖書の絵本です！

旧約の中に新約が隠されており、新約の中で旧約が明らかにされています！

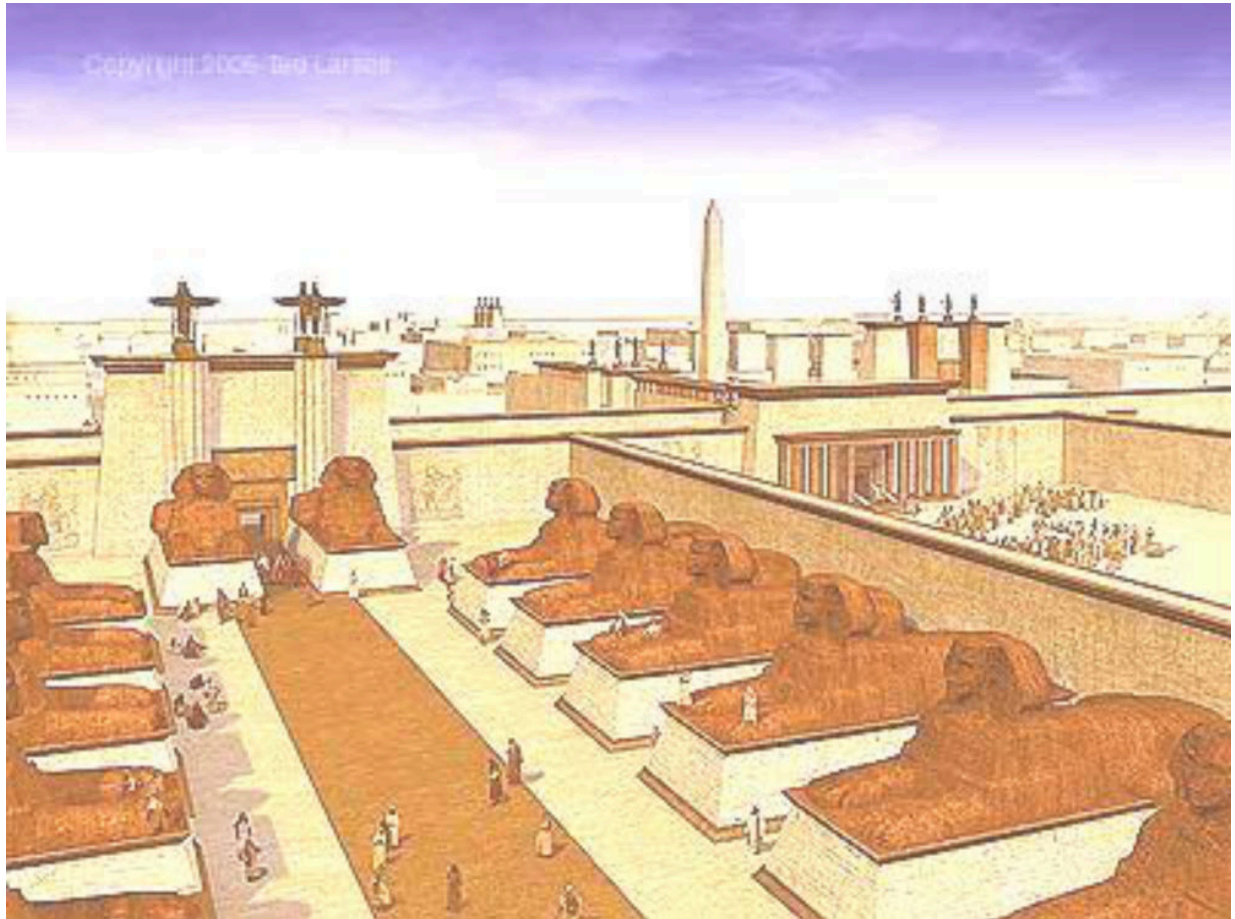
エジプトとファラオの予型的な意味

エジプトで神としてあがめられていたファラオは、サタンの型です。

……この世の神が、信じない者たちの思いを暗くした…… コリント人への手紙第二 4章4節

エジプトは、サタンの暴虐な支配のもとにある神なき世の型です。

……キリストは、私たちを**今の悪の世**から救い出すために、私たちの罪のためにご自分を与えてくださいました…… ガラテヤ人への手紙 1章4節



歴史と年代

あらゆる年代の記述を解釈し、この地域全体の歴史的なデータと事実を評価した結果、二つ、あるいは三つの主な立場が生まれました。一つは紀元前1606年ごろという非常に早い出エジプトを主張し、もう一つは紀元前1445年、そして残る一つは紀元前1200年という遅い出エジプトを主張しています。

ここで特に挙げておきたいのは、ロジャー・リービ（Roger Liebi）の研究「Zur Chronologie des AT」（2006年5月）です。この研究は紀元前1606年説を裏づける良い証拠を示しています。

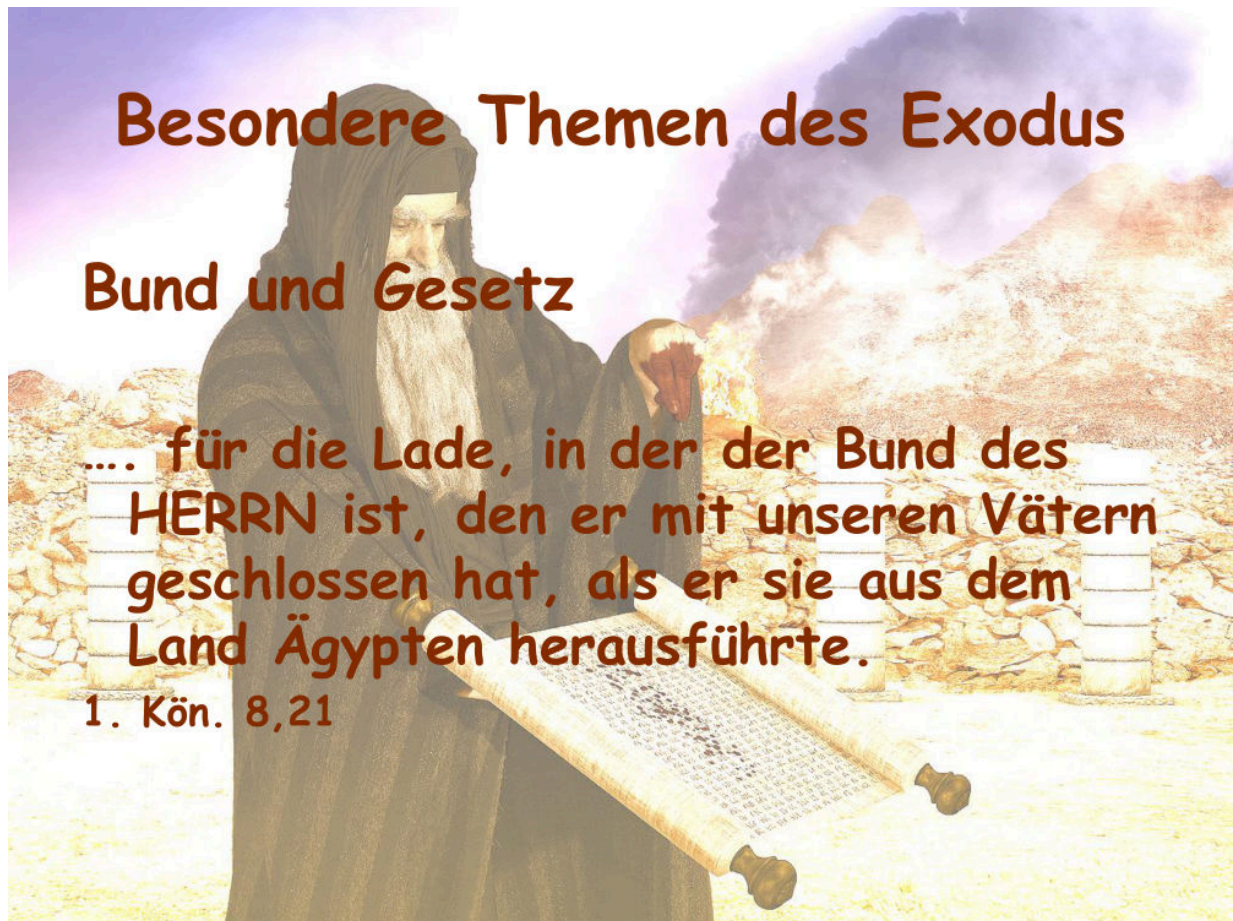
最終的に年代を確定するには、おそらくさらなる研究が必要でしょう。しかし、出エジプトは上に挙げたいずれかの年に、少なくとも紀元前2千年紀の半ばごろに起こったと考えてよいでしょう。

出エジプト記の特別なテーマ

契約と律法

……主の契約が納められている箱のために。その契約は、主が私たちの先祖をエジプトの地から導き出されたときに、彼らと結ばれたものである。

列王記第一 8章21節



神の啓示

神の顕現（テオファニー）

神はモーセに「ヤハウェ」という名をもってご自身を現されます。

神は主の使いにおいてご自身を現されます。

神は火の中に、また雲の中に姿を現されます。その雲は神の遍在を目に見えるものにします。
夜、暗やみの中では、この雲は火の雲となります。

モーセは神の栄光を後ろから見ます。



聖所



(図：宿営の真ん中にある聖所を見つめるモーセ。)

奇跡

およそ250万人の民が荒野を旅したその全行程は、初めから終わりまで、超自然的にしか説明できません。

「奇跡はすべて、大小を問わず、人間には不可能なことであり、科学の基礎となっている自然の規則的な法則を中断するものである。だからこそそれは奇跡なのであり、神は、誰も夢にも思わないほど力ある神が天におられることを証明するために、それを人間にお与えになった。」 R・レアード・ハリス (R. Laird Harris)

出エジプト記の概観

第1部：1～18章

エジプトからの解放

抑圧者への刑罰

抑圧された者の解放

神がご自分の民にとってどのような方であり、何をなさるか

律法のない時代

第2部：19～40章

神のもとに導かれる

神とご自分の民との関係

シナイ山で

民が神にとってどのような存在であるか

律法授与の後

出エジプト記の構成

1～12章：エジプトにおけるイスラエルの民の捕らわれ

- 解放への準備（1～4章）
- 解放への試み（5～12章）

13～18章：神によるイスラエルの民のエジプトからの解放と、荒野における神の臨在

- 神がイスラエルの民をエジプトから導き出される（13～15章）
- 荒野における神の導きと配慮（16～18章）

19～40章：シナイ山における神の律法授与

- 契約の締結（19～24章）
- 幕屋と祭司職についての契約の規定（25～31章）
- 反逆する契約の民（32章）
- 契約の更新（33～34章）
- 幕屋の建設と奉献（35～40章）

区分と構成

救いという観点から見ると、三つの部分に分けることができます。

救出者（モーセ）の物語	1章と2章
救いの物語	3章から14章
救われた者たちの物語	15章から40章

区分と構成

次のような区分も挙げておく価値があります。

1. 歴史	1章から19章
-------	---------

2. 律法	20章から24章
3. 礼拝	25章から40章

モーセ五書の文脈の中で、出エジプト記は次のような位置を占めています。

創世記（モーセの第一の書）	- 初めに	罪
出エジプト記（モーセの第二の書）	- これらは名である	救い
レビ記（モーセの第三の書）	- そして彼は呼んだ	聖さ
民数記（モーセの第四の書）	- 荒野で	巡礼の旅
申命記（モーセの第五の書）	- これらはことばである	報い

救出者の選び

1～4章

約束を担う者であるイスラエルの子ら（「神の君」ヤコブの子ら）はエジプトにいる

救出者モーセ：エジプトで40年、ミディアンで40年、荒野の旅で40年

ヤハウェ（JHWH）は、ご自分のしもべモーセによってご自分の民を救うことを計画される



3+3+3+1の災い

5～11章

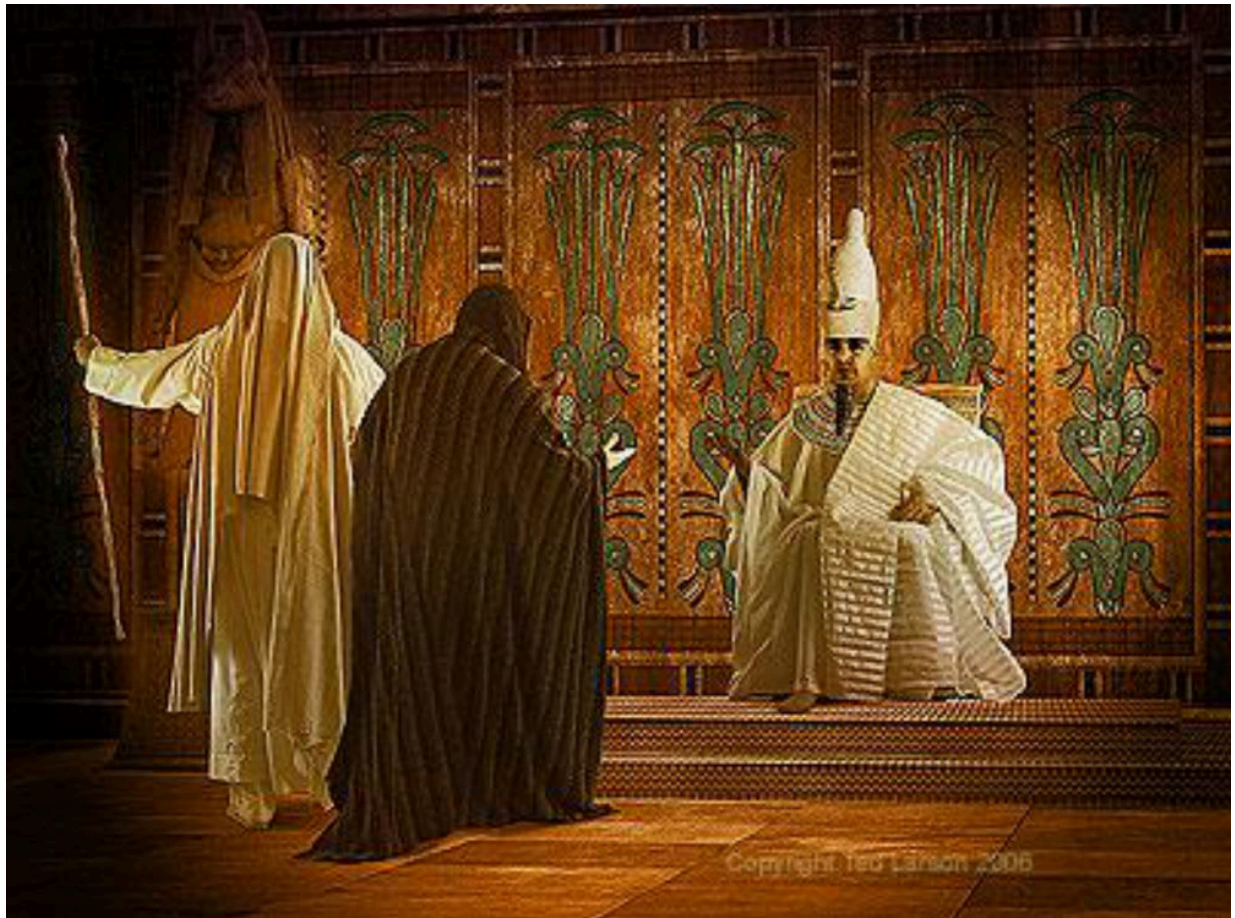
しるしと不思議（イスラエルとエジプトのために）

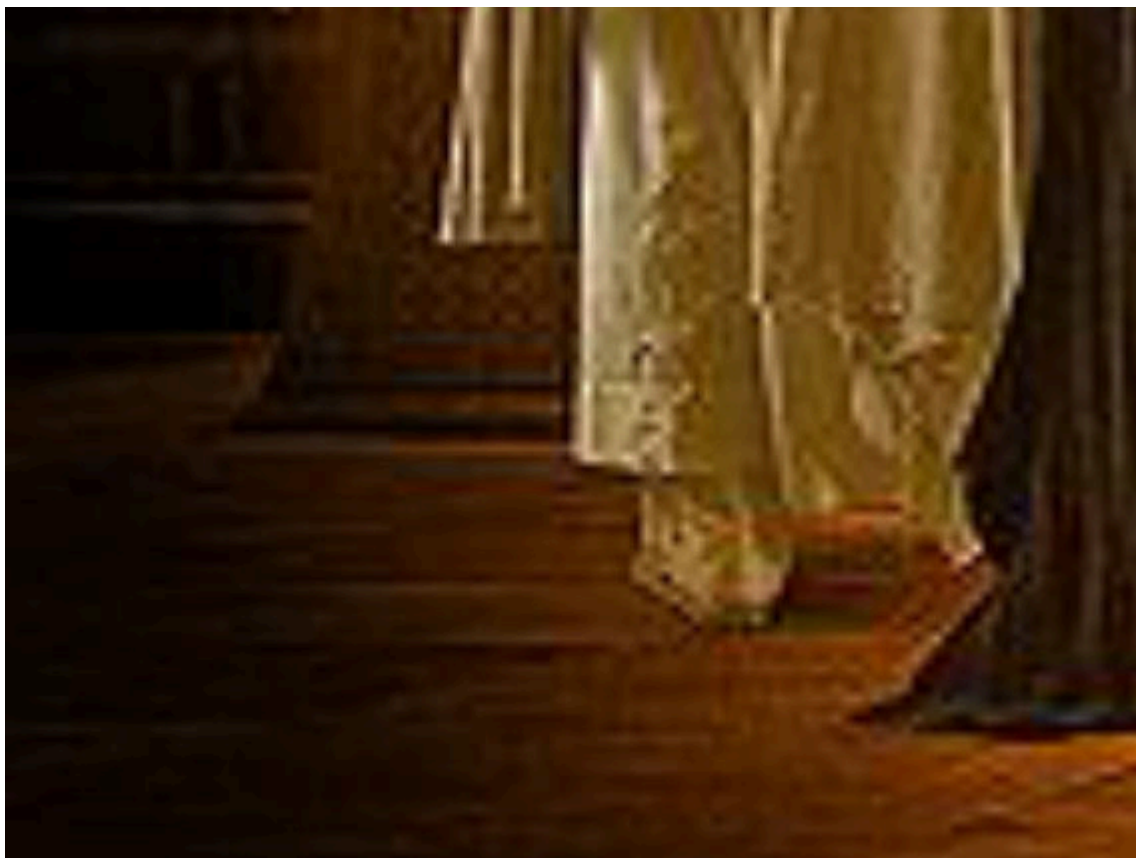
神の力強い御手、**神の指**

大いなるさばき（間接的に、また直接的に）

エジプトの神々、とりわけファラオが打たれる。

神のほうが大いなる方だからです。





3+3+3+1の災い

5～11章

預言的な解釈

モーセはキリストと同じように拒まれ、ミディアンへ行って結婚します。キリストが異邦人から成る教会と結ばれるのと同じです。そしてその後、自分のかつての民のもとに戻り、彼らを自分の民として認めます。この民は大いなるさばきと患難を通して救われます。

すべての災いは黙示録（16:9）にも再び出てきます。最初の三つは、まだ区別がなされていない間は、私たちもともに経験します。私たちが天にいるようになったとき、最後の、最もひどい災いが来るのです。



3+3+3+1の災い

5～11章

1. ナイルの水が血に変わる
2. 蛙
3. ぶよ
4. あぶ
5. 家畜の疫病
6. 腫れ物
7. 雹
8. いなご

9. 暗やみ

10. 長子の死





過越と出エジプト

12～15章

過越は旧約聖書の中心的な出来事です

小羊はキリストを指し示す最もよく知られた型です。「私たちの過越の小羊キリストは、すでに屠られたのです！」（コリント第一5:7、ペテロ第一1:19ほか）

将来、世界の歴史もまた小羊によって定められ、その目標へと導かれます。（黙示録）

もし小羊と小羊の血が区別をもたらさなかったなら、最後の災いはイスラエルをも襲っていたことでしょう！

主の過越

12章

- 月々の初め
- 傷も汚れもない小羊
- 4日間、家の中で守っておく
- 門柱とかもいに塗られた血
- 丸ごと焼き、全部食べる、苦菜を添えて
- 出発の備えをして

- 永遠の記念
- 種なしパンの祭り
- 出エジプト



出エジプト

13～15章

長子の権利

雲の柱と火の柱

葦の海での劇的な救出

ファラオの滅亡

救いの歌

葦の海とその意味

救いと解放

兄弟たち、あなたがたに知らずにいてほしくありません。私たちの先祖はみな雲の下にいて、みな海の中を通り、
みな雲の中と海の中で、モーセにつくバプテスマを受けました。コリント人への手紙第一 10章 2節

ローマ人への手紙に記されている神の大いなる救いこそ、靈的な意味における過越と葦の海を理解する鍵です。過越は血の下での守りであり、葦の海は罪の力からの解放です。

荒野の旅の始まり、最初の3か月

15章22節～18章

荒野での最初の教訓

- マラとエリム
- マナー—天からのパン
- 岩からの水
- アマレクとの戦い
- イテロとその助言
- （律法のない時代）

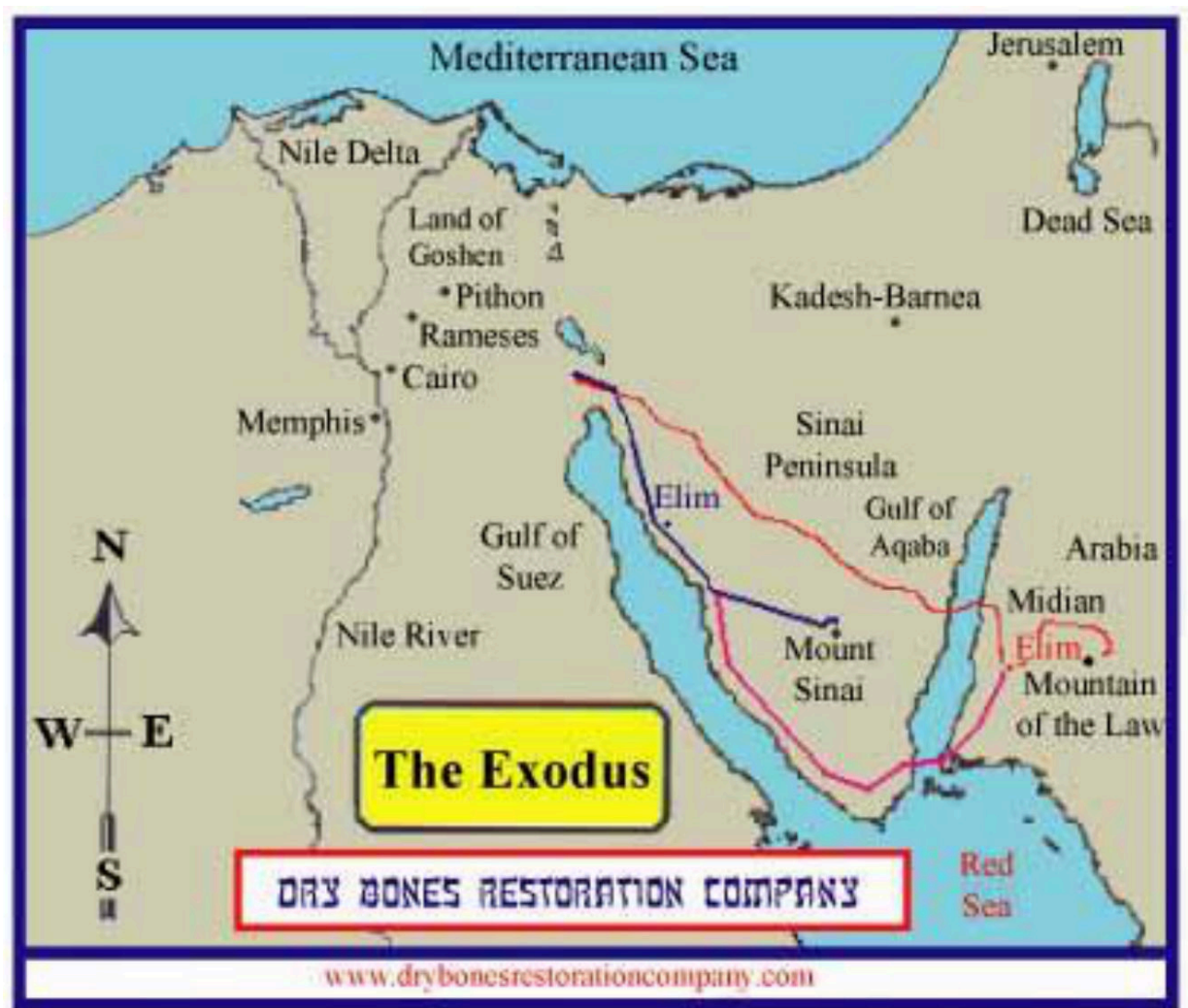






(地図：ナイル・デルタからシナイ半島を通してシナイ山へ、さらにカナンへと向かう、伝統的な出エジプトのルート。英語表記。)

さらに二つの別ルート



(地図：ラメセスからシナイ半島を通る、あるいはミディアンへ向かう、出エジプトのさらに二つの可能なルート。英語表記。)

契約と律法

19～24章、32～34章

モーセは神に会うために（シナイ山に）登って行った。……

「あなたがたは、わたしがエジプト人にしたことを見た。わたしがあなたがたを鷲の翼に乗せて運び、ここまでわたしのものに連れて来たことを体験した。

今、もしあなたがたがわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るなら、あなたがたはすべての民の中にあって、わたしの宝となる。全地はわたしのものだからである。あなたがたはわたしにとって祭司の王国、聖なる国民となる！」

民はみな心を一つにして言った。「私たちはヤハウエが言われたことをすべて行います！」 出エジプト記 19章4～8節

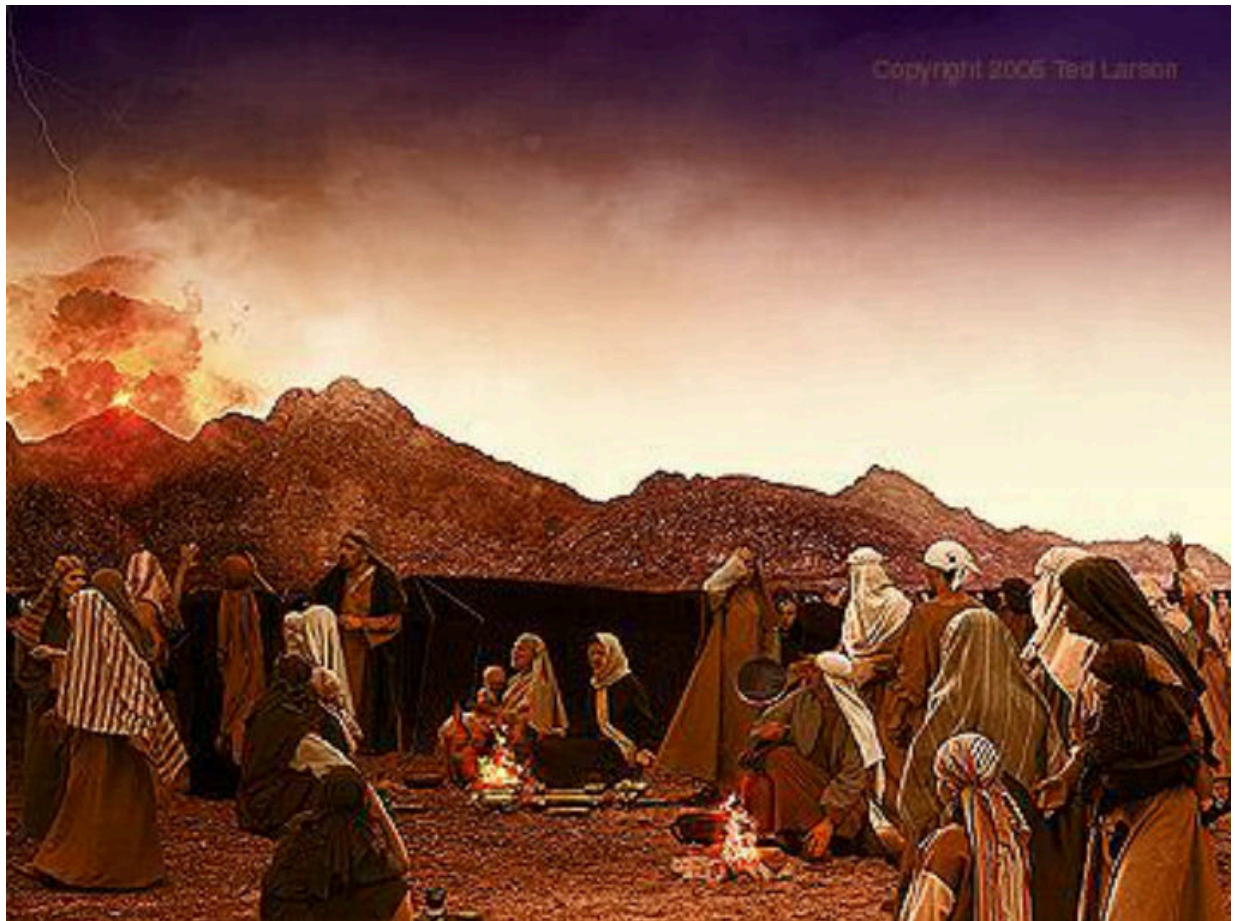
シナイ山と古い契約

ハガルはアラビアにあるシナイ山のことで、今のエルサレムに当たります。なぜなら、今のエルサレムはその子らとともに奴隷となっているからです。ガラテヤ人への手紙 4章25節

あなたがたが近づいているのは、手で触れることができ、火が燃えている山、黒雲、暗やみ、嵐……ではありません。ヘブル人への手紙 12章18節

シオンの山と新しい契約

しかし、あなたがたが近づいているのは、シオンの山、生ける神の都である天のエルサレム、無数の御使いたち……です。ヘブル人への手紙 12章22節



戒め——十戒：十のことば

十戒は、イスラエルに与えられたすべての戒めの心臓部です。

「主はご自分の契約をあなたがたに告げ、それを行うように命じられた。それが十のことばであり、主はそれを二枚の石の板に書き記された。」申命記 4章13節

モーセの律法には、道徳的、法的、市民的、儀式的、その他の戒めが、ちょうど613あります



神の啓示

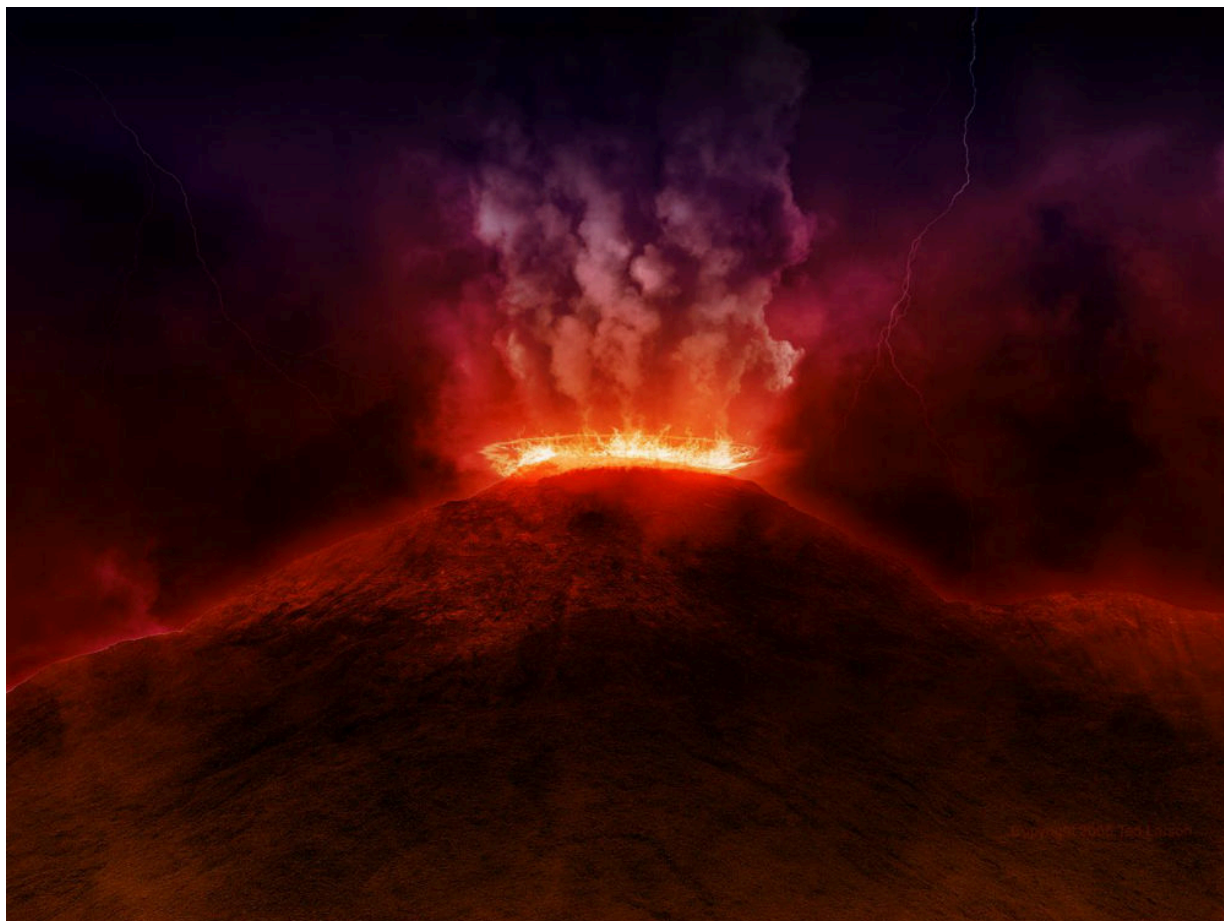
神はモーセに「ヤハウェ（JHWH）」という名をもってご自身を現されます

神は「主の使い」を通してご自身を現されます

神は特別な自然現象の中でご自身を現されます。

- 燃える柴
- 雲の柱
- 火の柱
- 燃える山の中で、嵐の中で、角笛の響きとともに

モーセは神の栄光を後ろから見ます

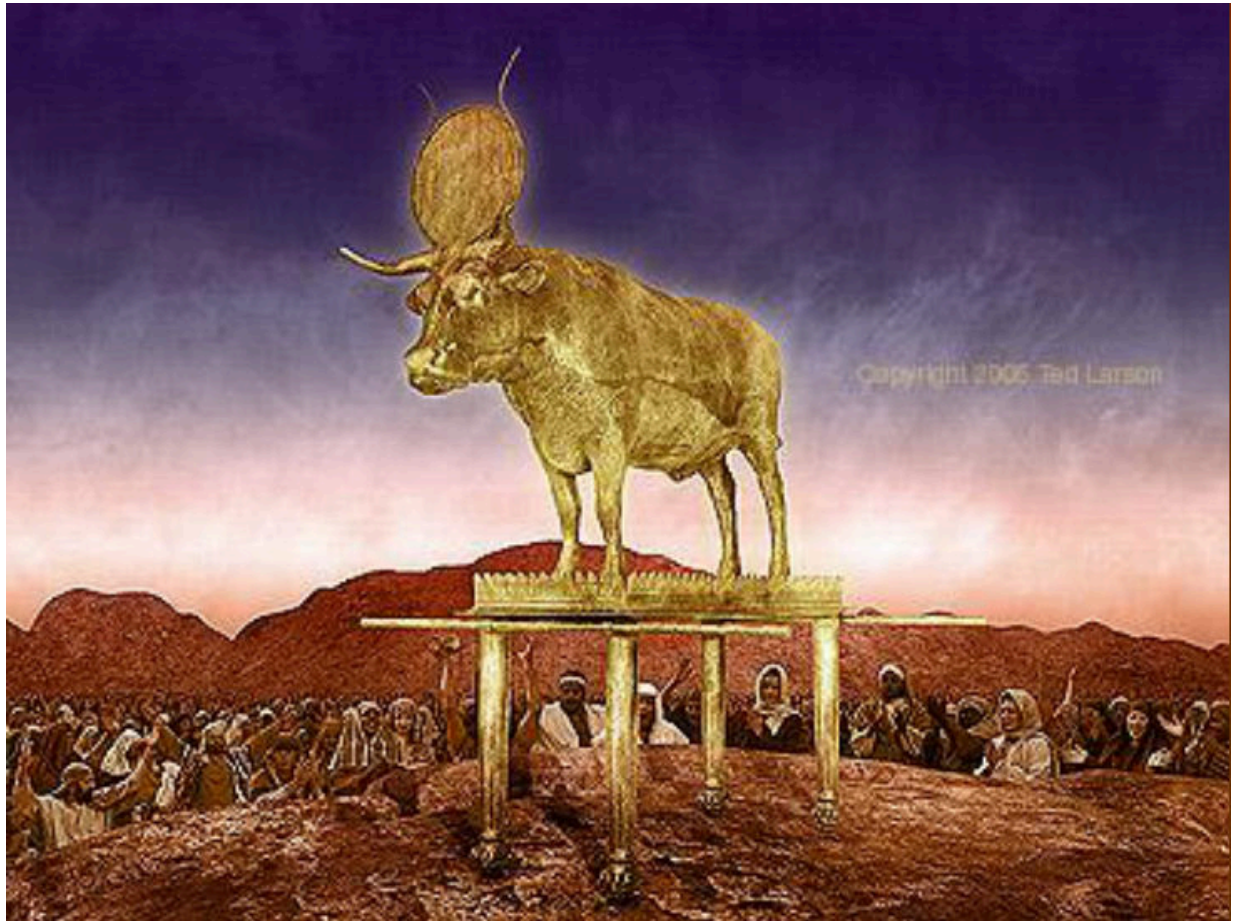


契約の締結、契約の破棄、契約の更新

山の上の仲介者、とりなし手モーセ

宿営では：金の子牛をめぐる偶像礼拝

詩篇 106篇23節 それゆえ、主は彼らを滅ぼすと言われた。もし主の選ばれたモーセが、破れ口に立って主の御前に立ちはだかり、主の憤りを引き返させて滅びを免れさせなかったなら。



「移動式の」神殿



「彼らにわたしのための聖所を造らせなさい。わたしが彼らのただ中に住むためである。わたしはあなたに、この住まいとそのすべての備品の型を示した。それに従ってあなたがたはそれを造らなければならない。」 出エジプト記 25章8～9節

彼らにわたしのための聖所を造らせよ。わたしが彼らのただ中に住むためである。

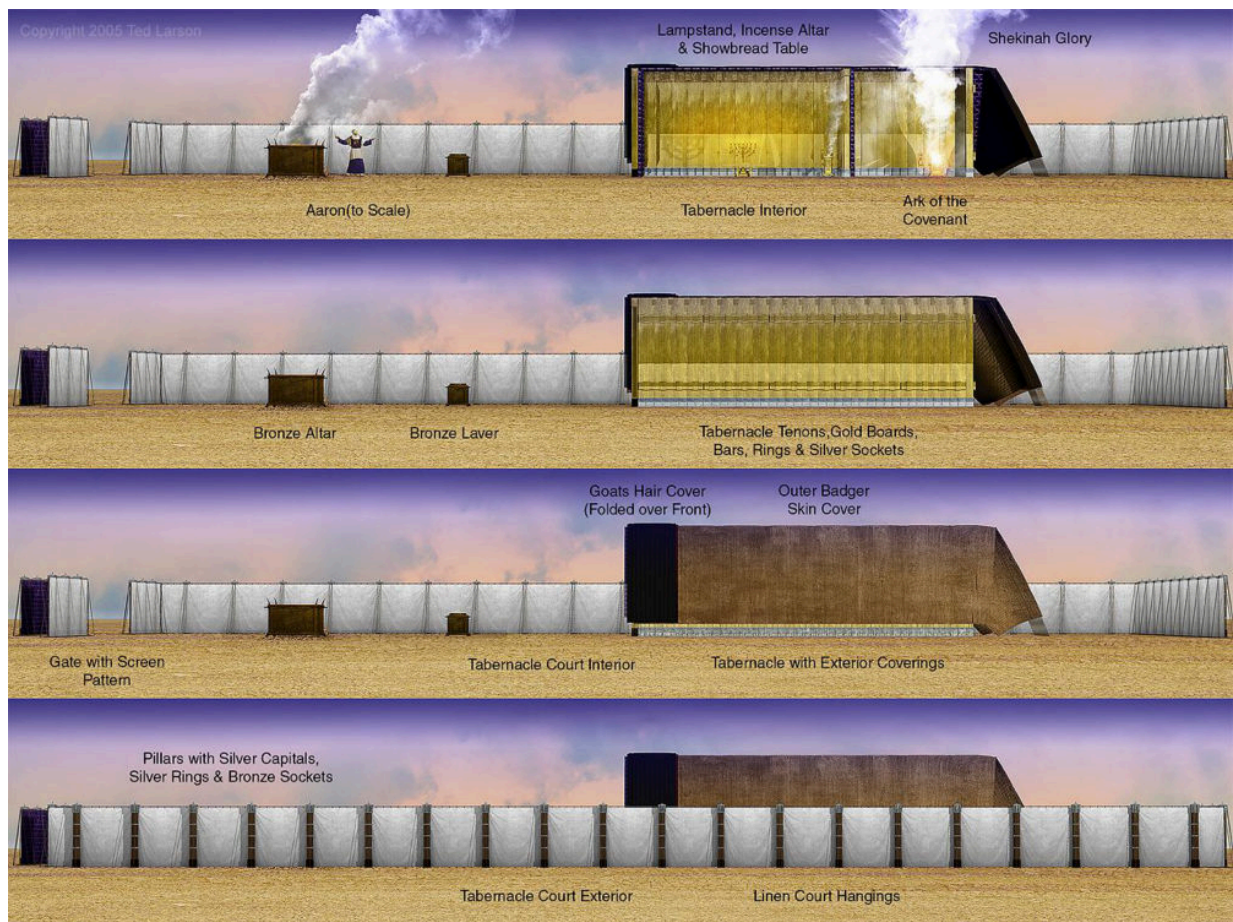
出エジプト記 25章8節

主な部分：

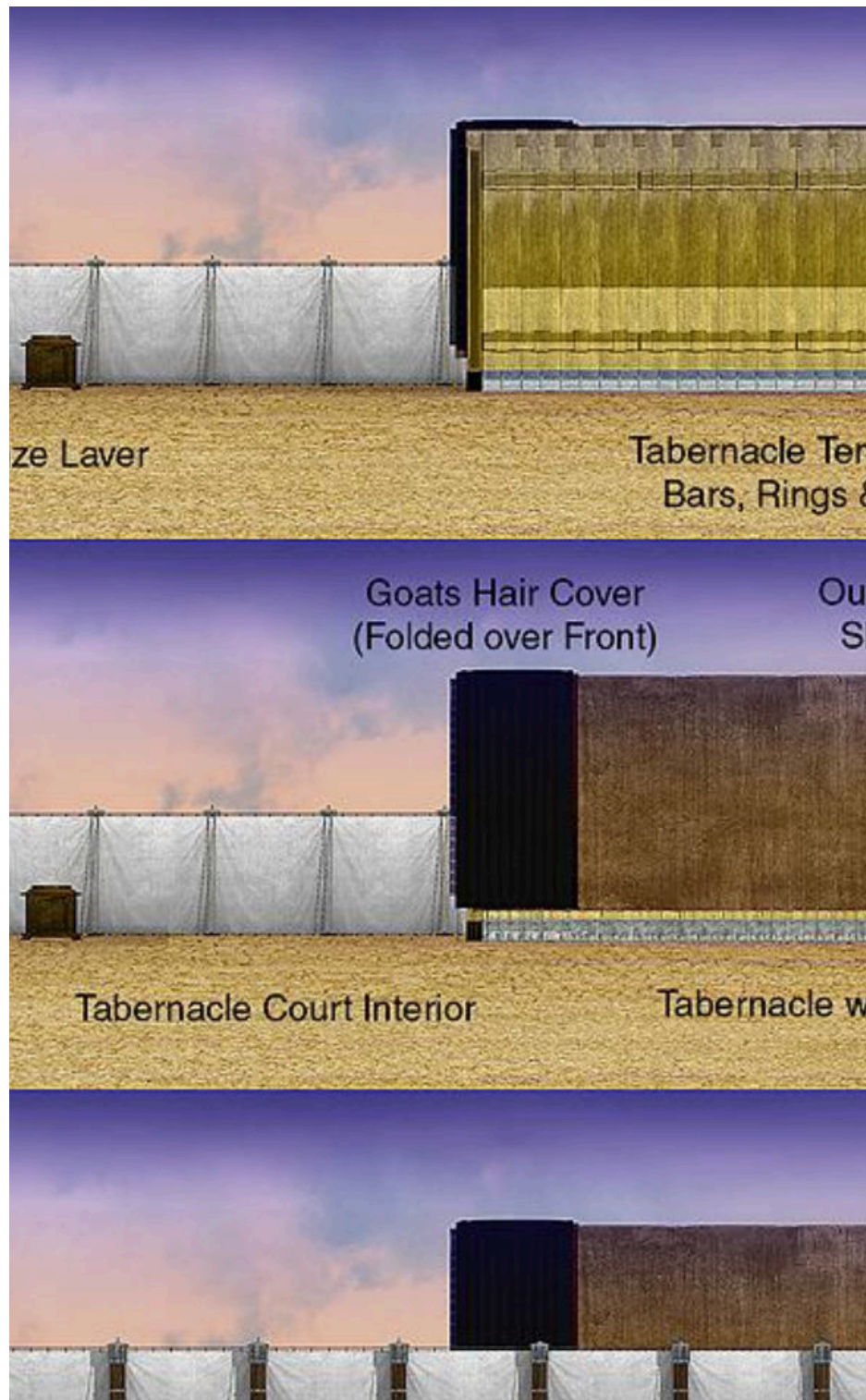
- 庭の囲い
- 入口
- 庭
- 全焼のいけにえの祭壇
- 洗盤
- 会見の天幕



上から見た会見の天幕



(図：幕屋を四つの視点から描いたもの。内部の器具から外側の覆い、庭の囲いまで。英語表記。)

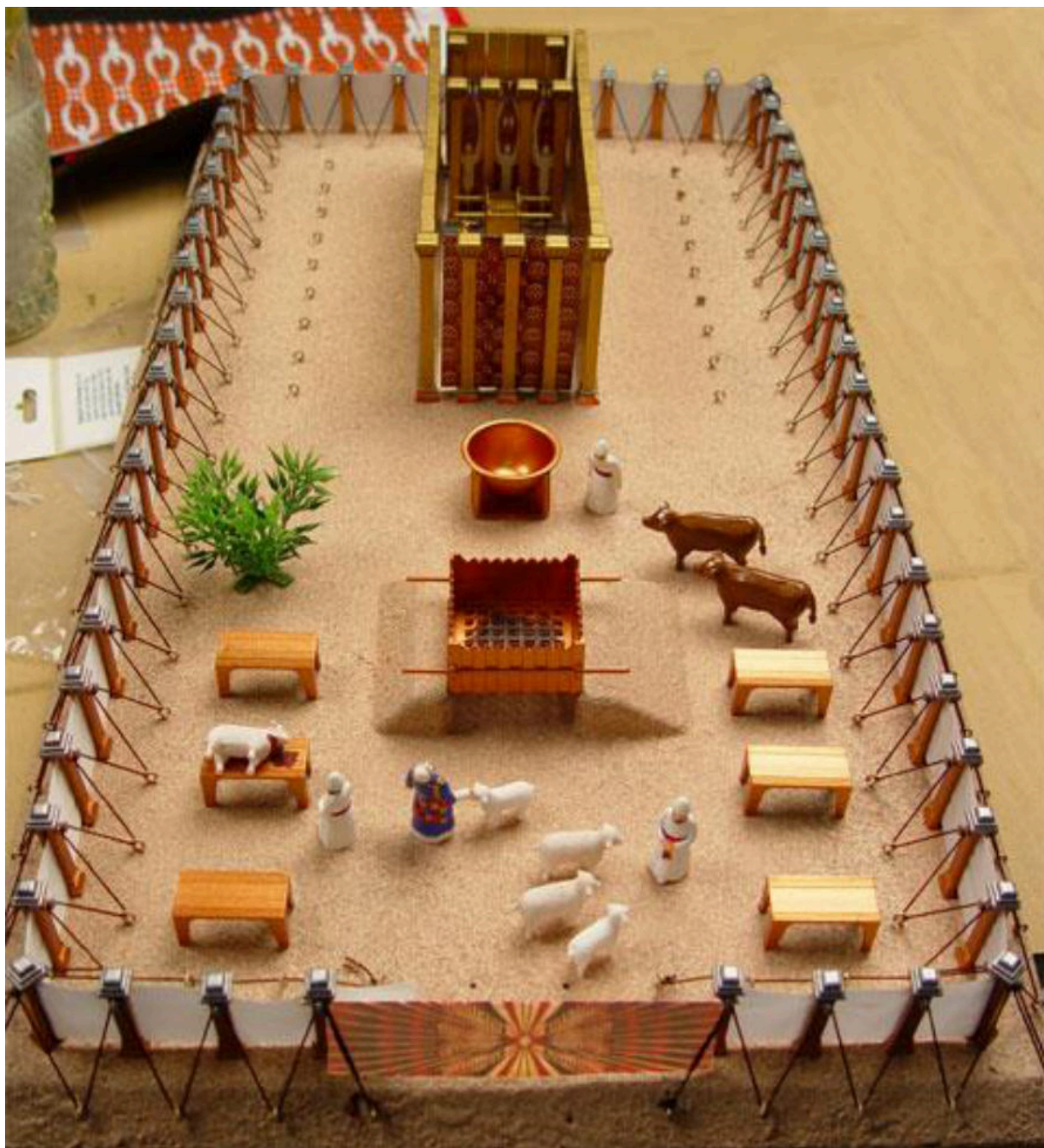


幕屋の象徴的な意味

幕屋はキリストを指し示しています。

「ことばは人となって、私たちの間に“幕屋を張られた”！」ヨハネの福音書 1章14節

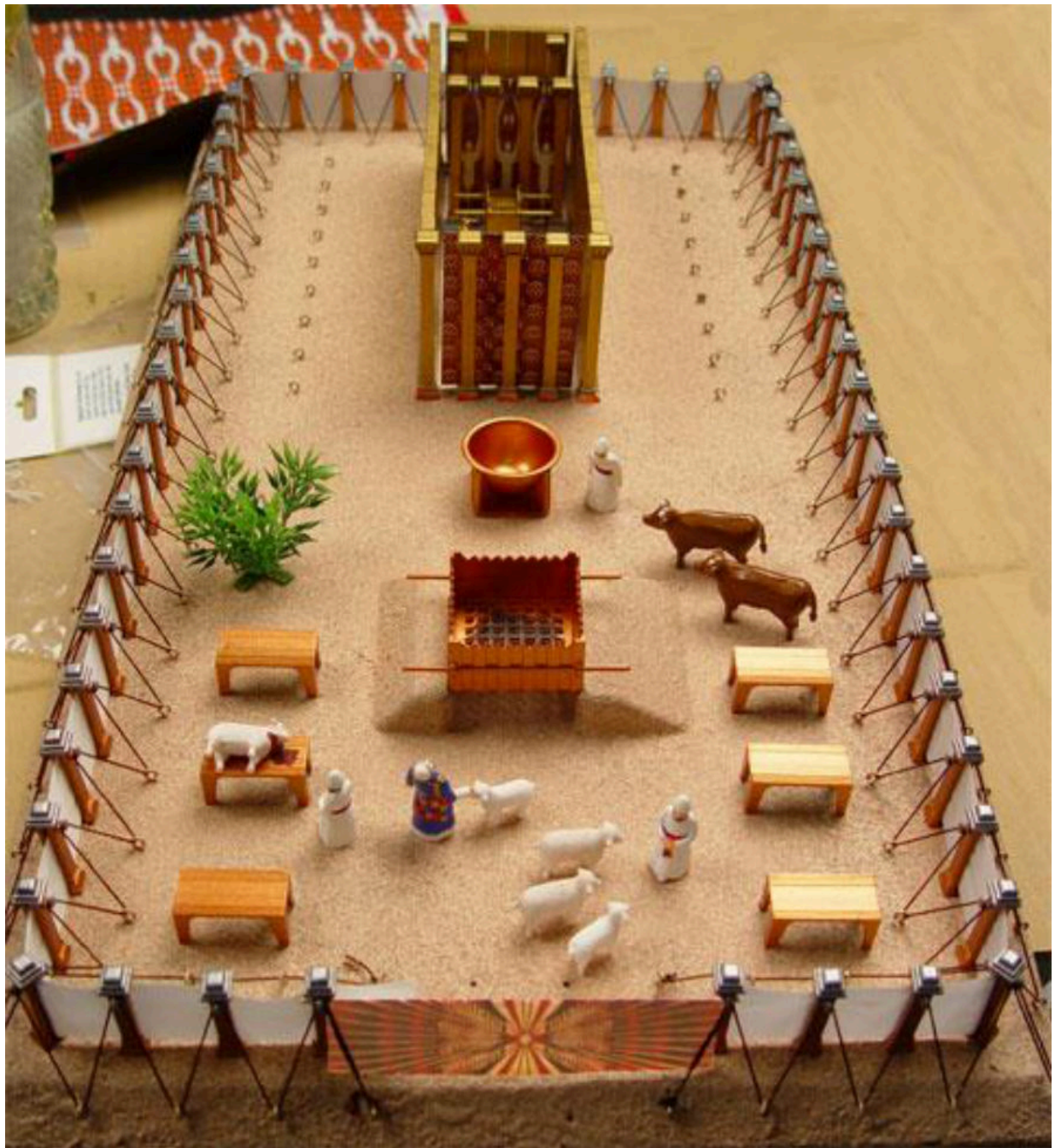
幕屋は教会について語っています。幕屋は旧約聖書における神の住まいでした。教会は新約聖書において、御霊による神の御住まいです（エペソ2:22）。教会は新しい創造において「神の幕屋」と呼ばれています。（黙示録21:3）



幕屋の象徴的な意味

幕屋は天について語っています。

雲のある空（これが第一の天です）や星空（これが第二の天です）のことではなく、第三の天（コリント第二12:2）——神の住まわれる所のことです。ヘブル人への手紙 9章23～24節



契約の箱

民のただ中にある神の御座

……全面を金でおおわれた契約の箱がありました。その中には、マナの入った金のつぼ、芽を出したアロンの杖、契約の板がありました。ヘブル人への手紙 9章4節



供えのパンの机



あなたは小麦粉を取り、それで輪形のパンを十二個焼く。一つの輪形のパンは十分の二エパでなければならない。

それを二並び{または「二列」}にして、一並びに六個ずつ、主の前の純金の机の上に置く。

それぞれの並びに純粋な乳香を置き、それをパンの記念の部分とし、主への食物のささげ物とする。

供えのパンの机

安息日ごとに、彼はそれを絶えず主の前に整えておかなければならない。これはイスラエルの子らによる永遠の契約である。これはアロンとその子らのものとなり、彼らはそれを聖なる所で食べる。それは主への食物のささげ物のうちで最も聖なるものとして、主に属するからである。これは永遠の掟である。レビ記 24章5～9節



神の御座に冠をかぶって着いておられるキリストこそ、私たちの糧です。

パンは、ユダヤ人と異邦人から成る教会の型です。

金の七枝の燭台

聖所の光源——キリスト。

金一つから打ち出して造られたもの。

世の光（ヨハネ8:12）

聖霊（エペソ1:17～18）

信仰者たち（エペソ5:8～10）



金の香の祭壇

礼拝の場——キリストの芳しい香り

一日に二度、聖なる香

私たちの大祭司キリストが、私たちの礼拝を導かれます。

礼拝する者としての信仰者たち

ヘブル13:15

黙示録5:8



全焼のいけにえの祭壇

ゴルゴタの十字架！

あなたがたは主の杯を飲みながら、悪霊どもの杯を飲むことはできません。**主の食卓**にあずかりながら、悪霊どもの食卓にあずかることはできません。コリント人への手紙第一 10章21節

私たちには一つの**祭壇**があります。幕屋に仕える者たちには、この祭壇から食べる権利がありません。ヘブル人への手紙 13章10節





青銅の洗盤

こういうわけで、兄弟たち、私たちはイエスの血によって大胆に聖所に入ることができます。イエスはご自分の肉体という垂れ幕を通して、私たちのために、この新しい生ける道を開いてくださいました。また私たちには、神の家を治める偉大な祭司がおられるのですから、心に血が振りかけられて邪悪な良心をきよめられ、からだをきよい水で洗われ、全き信仰をもって、真心から神に近づこうではありませんか。ヘブル人への手紙 10章19～22節



祭司たち——アロンとその子ら

28章と29章

その装束

その任職

毎日の全焼のいけにえ





聖所の建て上げ

神の栄光の現れ

出エジプトから1年後に、最初の間目標に到達します。

新約聖書の教会

永遠

神のもとに導かれた！

